

進路だより No.32

文責・進路担当 糸山 真由美

《三者面談に向けて》

2学期期末考査が終了しました。十分に力を発揮することができましたか。

廊下やピロティでは、担任と2者面談をしている姿が見られます。わからないことや悩んでいることは担任に伝え、アドバイスをもらって進路決定につなげていきましょう。

12月3日(金)～9日(木)の5日間、三者面談が始まります。先日、オンラインによる進路説明会の中で話しましたが、この面談では、私立学校の**受験校決定**、公立高校(特色化・推薦・一般)の受検校の確認、国立高専や定時制・通信制等の受験校の確認などを行います。☆私立受験校は願書の記入まで行います。(公立の特色化選抜の願書も書いてもらいます。)

面談日に担任・保護者・生徒の三者で相談するのではなく、今まで話し合いをしてきたことを**確認そして決定する場**です。したがって、面談日までに、保護者とじっくり話して、自分の考えをしっかりと固めておいて下さい。10月と11月の実力テスト、今までの成績や今回の期末テストを踏まえ、自分がどの学校を選択するのが最適かをよく考えましょう。

保護者の皆様へ

《進路説明会に関するQ & A》

進路説明会に対する質問の回答です。ご不明な点がありましたら、担任などにご相談ください。

Q：私立・公立の必要な内申点を教えてほしい。

A：特色化選抜以外では、高校は公表していません。

志望する学校によってのおおよそのアドバイスはできます。

Q：推薦入試と特色化選抜入試の違いが知りたい。

A：特色化選抜入試は、自己推薦的な入試で、各学校の評定基準以上の生徒は、希望する生徒は全員受験できます。

推薦入試では、中学校長の推薦が必要で、校内審査があります。

また、特色化選抜入試は私立高校前期入試の前に試験が実施され、内定が出ます。

Q：特色化選抜入試での、評定の基準を教えてほしい。

A：各学校や、学部によって異なります。

また、基準をクリアしても受験できる資格であって、集まり具合では不合格者が多く出る可能性があります。

実技については、各学校でそれぞれ種目や内容が発表されています。

Q：特色化選抜の申し込みは、3者面談のあとでも間に合いますか。

A：推薦入試や特色化選抜入試希望者は、第3回目の進路希望調査で一度集約します。

希望調査をもとに2者面談を行い、最終的には3者面談の時に決定します。

特色化選抜入試希望者は、3者面談で願書を書いていただくので、この日が期限となります。

Q：私立前期の受験料の支払いの時期はいつですか。

A：2学期中を予定していますが、特色化選抜入試受験者は、発表のあとを考えています。

Q：推薦や特色化選抜の評定は1学期ですか、2学期ですか

A：1・2学期を合わせて3年での評定を出します。

Q：私立高校の合否結果はどのようにして届くのか。

A：学校に連絡があります。放課後に各人に連絡します。

一部の学校ではネットで公開するところもあります。

進路説明会でお配りした冊子に訂正があります。お詫びを申し上げます。

P. 3 2月1日(火) 公立・進路関係の欄

公立推薦願書受付 ～ 2/5(土)正午 ⇒ 公立推薦願書受付 1/31(月)～2/3(木)正午